

YAMAHA R1-Z (3XC)用 TM30φキャブレター取扱説明書

このたびは、当社製品をお買い求めいただきありがとうございます。
本製品は、中、高回転時の出力及びトルクの向上を図るためのキャブレターキットです。

セット内容

キャブレターASSY	×	1SET(左右)
エアクリーナジョイントクランプ	×	2

諸元

部品名	…	TM-30φキャブレター
適合機種	…	YAMAHA R1-Z (3XC) 全機種
価格	…	¥59,850- (本体価格¥57,000-)
発売日	…	1998年6月16日

出荷仕様

メインジェット	#195
ジェットニードル	5EL68-4段目
ニードルジェット	N-9
パイロットジェット	#25.0
スロットルバルブ	#4.0
エアスクリュ戻し量	11/4

専用オプションパーツ

ニードルジェット(N-1 ~ O-6)	…	各¥2,625- (本体価格¥2,500-)
スロットルバルブ(#3.5, #4.5, #5.0)	…	各¥6,510- (本体価格¥6,200-)
フューエルコック(自由落下式)	…	¥4,620- (本体価格¥4,400-)

セッティングデータ

	TM30基本仕様	本品出荷時	STD	A仕様1	A仕様2	B仕様
油面(H寸法)	4mm	10.5 ~ 11.0mm	←	←	←	←
パワージェット	#80	#80	←	←	←	←
メインジェット	#195	#195	←	←	←	←
ジェットニードル	5EL68-3段目	5EL68-4段目	←	←	5EL68-3段目	←
ニードルジェット	N-9	N-9	←	←	O-2	←
パイロットジェット	#40	#25.0	←	←	#25	#25
スロットルバルブ	#4.0	#4.0	←	←	←	←
エアスクリュ戻し量	2.5回転	1.25回転	←	←	1.5回転	1.25回転
エアクリーナーダクト	-	取り外し	←	←	←	←
使用オイル	-	ヤマハオートルーフスパーオイル	←	←	←	←

A仕様 … 当社製MAGIC-FIRE装着時

B仕様 … 当社製エアインテークチャンパー装着時

※ 上表の仕様は参考値です。セッティングは、オートバイの状態によって異なる可能性があります。

仕様および販売価格は予告なく変更することがあります 2012.06.

取り付け方法

はじめに

- ◇ このキャブレターKITの取付ける際には、エンジンの一部(クランクケース,チェーンカバー)に加工が必要です。ご了承ください。
- ◇ このキャブレターKITは、負圧式燃料コックに対応しておりません。したがってSTDの燃料コックをご使用の場合、キャブレター装着後の燃料供給は、PRI位置(自然落下)のみとなりON位置およびRES位置で燃料は供給されませんのでご注意ください。(予備タンク機能はなくなります。)
- ◇ 取付けに際しましては、メーカー発行のサービスマニュアルをご用意ください。

1. ノーマルのキャブレターの取り外し

1.1 エアクリーナーボックスの取り外し

エアクリーナーボックスを取り外す。
[サービスマニュアル 3-13参照]

1.2 キャブレターの取り外し

キャブレターを取り外す。[サービスマニュアル 第6章参照]
スタータープランジヤ(チョークユニット)を取り外す。

2. キャブレターKITの組み込み

1で取り外した逆手順で組み込みを行う。
組付ける前にクランクケースとチェーンカバーの加工を行う。

2.1 クランクケースの加工

ドライブチェーンカバーを取り外す。
ドライブチェーンカバーのノックピン部分を切り取る。(図1参照)
切り取ったドライブチェーンカバーにあわせてクランクケースのノックピン取り付け部分を切り取る。

2.2 キャブレターの組み込み (サービスマニュアル参照)

冷却水パイプをシリンダヘッドでバイパスする。(図2参照)
ラジエーターパイプジョイント側のユニオンを180度回転させて、ノーマルのホースを適当な長さに切ってシリンダヘッド側のユニオンとバイパスさせる。

ノーマルのスタータープランジヤ(チョークユニット)を組み付け、キャブレターAssyを取付ける。

2.3 エアクリーナーの組み付け (サービスマニュアル参照)

エアクリーナーカバーについているダクトを取り外す。(図3参照)
付属のエアクリーナージョイントクランプでエアクリーナーボックスを組付ける。(図2, 図3参照)

2.4 フューエルタンクの組み付け

フューエルホースを適当な長さに切り、フューエルコックに取り付け、フューエルタンクを元どおり組付ける。

注意

- ◇フューエルホースが折れ曲がらないように注意して組付けること。

図1 ドライブチェーンカバーカット部分

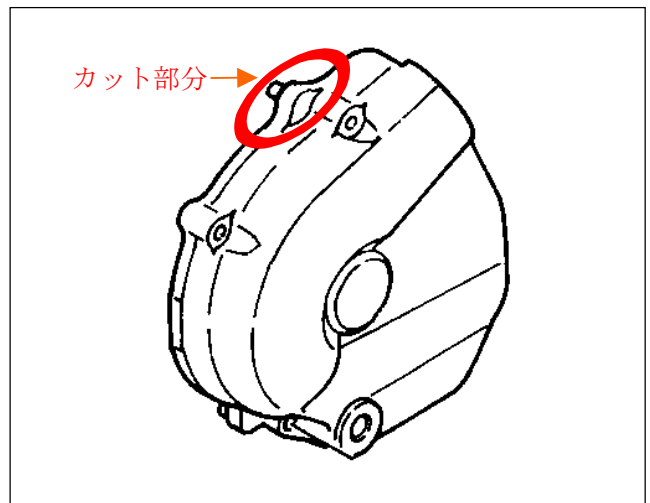
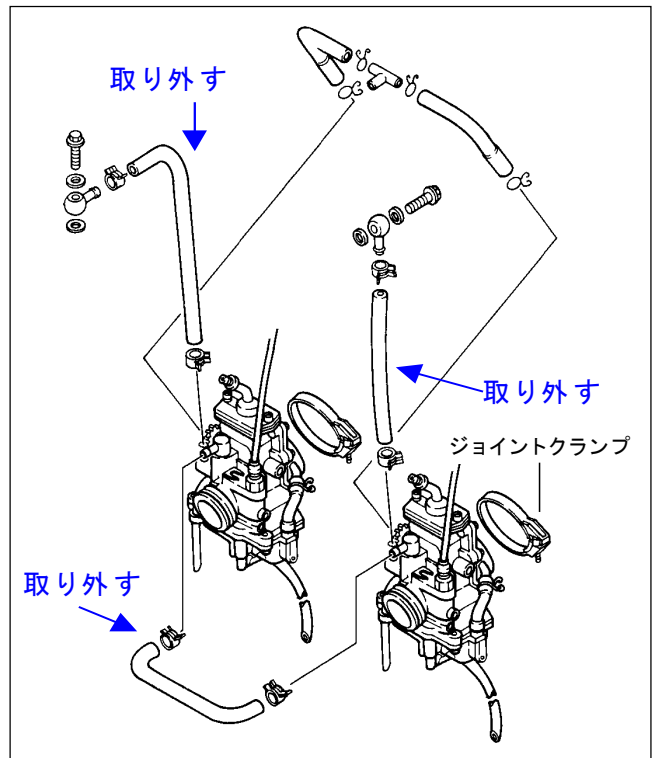


図2 冷却水パイプ



3. 調整

サービスマニュアルに準じて各部の調整を行う。

3.1 キャブレターの同調

左右のキャブレターが同時に開くようにキャブトップのケーブルの取付け長さで調整する。

3.2 スロットルの遊び

スロットルグリップ側のケーブルで遊びの調整をする。

3.3 アイドリングの調整

アイドルスクリューでアイドルリングを1200rpmに調整する。

4. 作動確認

各部のゆるみ、締め忘れがないか確認する。

ハンドルを左右に切ったときスロットルケーブルが引っ張られていないか確認する。

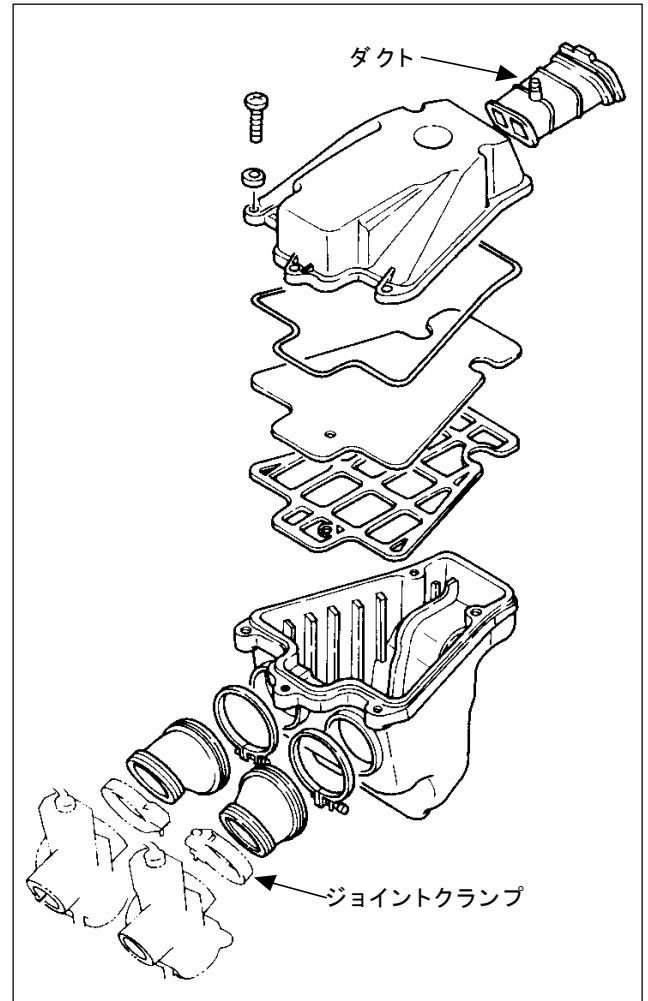
冷却水の漏れがないか確認する。

キャブレターがオーバーフローしていないか確認する。

注意

◇燃料コックをON(PRIの位置)にしたままだとキャブレターのオーバーフローの原因になります。走行時以外は燃料コックをOFF(ONかRESの位置)にしてください。

図3 エアクリーナー



ご不明な点は下記までお問い合わせください

オーエックスレーシング

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町2-14-6

TEL 03(5666)3351

*** 本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。***